

# キウイフルーツかいよう病に対する品種抵抗性 No 1

キウイフルーツかいよう病（以下、かいよう病）発生地域（Psa1）でキウイフルーツ等を栽培し、その発病状況から、供試品種、系統のかいよう病に対する抵抗性を評価した。

## 1. 試験方法と供試品種

試験ほ場：砥部町キウイフルーツ園（ヘイワード）



2015年5月に砥部町現地ほ場のヘイワード6樹に下表に示す13品種、系統（17～19本ずつ）を結果母枝に高接ぎした。

表 供試品種、系統の概要

品種名	種名・倍数性	雌雄
レインボーレッド	<i>Actinidia chinensis</i> 2×	♀
スパークラー	<i>A.chinensis</i> 2×	♂
アップル	<i>A.chinensis</i> 4×	♀
さぬきゴールド	<i>A.chinensis</i> 4×	♀
さぬき花粉力	<i>A.chinensis</i> 4×	♂
片浦イエロー	<i>A.chinensis</i> 4×	♀
讚緑	Hybrid 4×	♀
ヘイワード	<i>A.deliciosa</i> 6×	♀
香緑	<i>A.deliciosa</i> 6×	♀
トムリ	<i>A.deliciosa</i> 6×	♂
チーフタン	<i>A.deliciosa</i> 6×	♂
府中※	<i>A.rufa</i> 2×	♀
長浜♂※	<i>A.rufa</i> 2×	♂

※「府中」、「長浜♂」はキウイフルーツの台木系統

## 2. 調査項目

### 2016年春の調査項目



### 2017年春の調査項目



①2016年4月～6月にかけて葉の発病度、花腐れの発病度、新梢の枯死率調査した。

②2017年3月～4月にかけて新梢の発芽の程度から結果母枝の衰弱度を算出した。

## 3. 抵抗性の評価法（罹病性スコア）

表 罹病性スコアの配点法

評価項目	配点（ウェイト）	スコア
葉の発病度	100 (10%)	葉の発病度 × 1
花腐れの発病度	200 (20%)	花腐れの発病度 × 2
新梢の枯死率	300 (30%)	新梢枯死率 × 3 × 100
結果母枝の衰弱度	400 (40%)	結果母枝の衰弱度合 × 4
計	1000 (100%)	

経済栽培上影響の大きい調査項目の配点を高くして、罹病性スコア（1000点）を算出し、各品種、系統の抵抗性を評価した。